

## 令和2年度 事業計画

平成31・令和元年度も、当会の諸事業・行事に多大なご理解・ご協力を賜り、無事終了することができましたこと、会員・賛助会員・関係各位の皆様にご感謝申し上げます。

平成が昨年4月をもって終わりました。新たな年号が令和と発表され、変革の年となりました。当会も梨臨技維新となるような活動を展開したいと考えます。

平成31年度・令和元年度は役員・事務局も継続となり、安定した活動ができました。県の独自事業として6月の新人研修会・総会を皮切りに、11月はリフレッシュ研修会を開催し、STI/HIV 予防啓発キャンペーンは、小瀬でのVF甲府の試合前に若手技師による活動が定着しています。令和2年2月には学術講習会を開催しました。更に日臨技からの共催事業である8月の「他職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会（ベッドサイド実践講習会）」、公益事業として全国展開している「検査と健康展」を11月に実施いたしました。健康展は評判も良く、臨床検査と臨床検査技師の認知度向上に繋がり、昨年度は高校生の体験学習も行い、今年度も継続します。12月には、日臨技による「初級職能開発講習会」が開催されました。日臨技事業としての新たな業務認証である「検体採取に関する厚労省指定講習会」につきましては、85%程度の受講率で昨年で終了しました。がん予防啓発キャンペーンは、健康増進課や放射線技師会との共催で盛り上がっていますので、今後も県技師会の独自事業として継続してまいります。また、好評であります山梨臨床検査フォーラムを、更なる学術向上の場、会員同士の団結・親睦の場として充実させたいと考えています。フォーラムに併せて今年度も賀詞交歓会を開催いたします。県医学検査学会は、甲府C地区の担当で開催されました。今年はD地区の担当となります。また、若手技師の会「若梨部」も新たな発想、学術研鑽や相乗効果を持ち、若手技師の語らいの場となりニューリーダーを育成できるよう支援してまいります。新人教育研修も継続事業とし、「多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会・ベッドサイド実践講習会」を今年度も開催する予定でしたが、日臨技で新たな講習会が全国展開される予定です。新人研修会は県独自事業として継続しつつ、更に今後も国際学会での発表や国際交流、国際支援などにも力を注いでまいります。また、各種認定の取得に対しても、応援できる体制を整えたいと考えます。災害対策も強化しなくてはなりません。当会は、県と「災害時における臨床検査技師の派遣に関する協定」を結び、避難所等における健康検診を行うための訓練も継続的に実施いたします。ネットワークづくりも必要です。

2025年問題や、病棟・在宅業務への進出に関しても準備を進め、チーム医療への参加を促していくことで、存在価値を高めねばなりません。認知症に関しても、臨床検査技師による関わりを深める必要があります。

一昨年には「検体検査の精度管理の義務化」が施行され、検体検査を実施しているすべての医療機関でこの対応を行い、精度を更に保証しているところでもあります。

今年度も日臨技及び、支部内各県と連携を図り、首都圏支部と協働して、更に行政とのつながりを強化し、地域医療及び公衆衛生の向上と医学検査の発展に努めます。

令和2年度の山梨県技師会は、以上のことを踏まえ、当会の目的を着実に推進すべく、下記の基本方針を軸に、公正で透明性の高い運営を目指します。

- 基本方針
- (1) 学術活動の推進
  - (2) 組織の強化・活性化
  - (3) 人材育成及び国際活動支援（認定取得支援を含む）
  - (4) 災害対策及び情報網の整備
  - (5) 公益事業の推進と他関連団体との連携強化
  - (6) 県技師会主催・共催事業の開催

### 1. 学術活動の推進

学術は、技師会活動の根幹を占めることから、学術部研究班活動を中心に、多くの会員が積極的に研修会に参加できるよう企画する。医学検査学会はD地区担当で開催される。山梨臨床検査フォーラムを更に充実し、「ベッドサイド実践講習会」は日臨技がタスクシフト・タスクシェアリングに関する研修会に変更予定なので、その事業を開催する。また、関甲信支部・首都圏支部と連携をとりながら、更なる学術研修会の推進を図る。精度保証認証については、認証取得施設の普及を図りたい。共用基準範囲使用の普及は急務である。

### 2. 組織の強化・活性化

地区理事を中心とした地区活動の強化・親睦を図り、技師会未加入技師の入会を図る。技師連盟への加入推進を図り、法渉関係の強化を目指す。更に、OB会『銀の輪』の普及と加入推進を図る。「若梨部」を将来の技師会や施設を担って立つような人材を育成するため支援していく。今後、更に会員の比率が増す女性会員も積極的な技師会活動への参入を推進する。また、検査フォーラムのあと組織強化と親睦を目的とした懇親の場（賀詞交歓会）の充実・継続を図る。

### 3. 人材育成（認定取得支援を含む）及び国際活動支援

昨年度に引き続き、新人教育として公益事業への参加と研修会を実施し、日臨技及び梨臨技、公益活動への理解と、夜間・休日の検査ポイントの知識向上を図る。認定取得に対しては、認定機構・認定センター・専門学会と連携をとり、研究班活動と共同で取得支援を推進する。学会抄録集がJ-STAGEに登録されたので、論文投稿にも協力していきたい。また、「若梨部」を中心にニューリーダーとなり得るような技師の発掘・育成、女性会員の育休後の教育支援、再就職に係る教育支援も希望を募り実施していきたい。更に、国際学会・国際交流・国際支援などへの活動に対しても積極的に支援していく。

### 4. 災害対策及び情報網の整備

昨今の大規模災害での教訓から、災害地域支援対策ネットワークを再構築し、来るべく災害に対処できるよう強化していく。更に、県と連携を図り、避難所等におけるDVT検診等

健康検診の訓練を継続していきたい。HPの個人情報の保護・セキュリティ強化に努め、広報部と協働し、HPの更なる充実と迅速かつ的確な情報提供を推進する。

## 5. 公益事業の推進と他関連団体との連携強化

日臨技委託公益事業である「検査と健康展」の更なる充実、「がん予防啓発キャンペーン」「STI/HIV 予防啓発キャンペーン」による県民への健康増進活動で関連団体と連携し充実を図る。「がん予防啓発キャンペーン」では県健康増進課・放射線技師会と密に連携し、県民の健康増進の向上に寄与する。関連団体とは積極的に連携を図り、開かれた技師会を目指す。主に、例年同様、下記各種行事・事業への共催・参加・協力を促進していく。

- 1) 山梨県医師会精度管理調査事業
- 2) 山梨県健康増進事業への参加・協力
- 3) 日臨技及び関甲信支部、首都圏支部との連携・協力
- 4) 山梨県臨床検査医学研究会の共催
- 5) 医療関連団体、学会との連携・協力
- 6) 公益事業の推進・共催、公衆衛生向上への寄与
- 7) 災害時における県や他医療団体との連携と協働

## 6. 県技師会主催・担当・共催事業の開催

- 1) 県医学検査学会 担当；D地区（県立中央病院・健康管理事業団グループ）
- 2) 学術講習会 担当；峡東地区
- 3) リフレッシュ研修会 担当；峡北地区
- 4) 人材育成研修会（新人教育研修会・地域ニューリーダー育成講習会等）
- 5) 山梨臨床検査フォーラム・新年賀詞交歓会
- 6) 検査と健康展・乳がん予防啓発キャンペーン
- 7) HIV/STI 予防啓発キャンペーン
- 8) その他